

第5回 テーマ 自らの切り口を分解・再構築する

ゴール 自らの切り口を認識して物事を考えることができる

本日の流れ

1. ミニッツペーパーの振り返り
2. 話さないグループワーク: 時間外学習の共有から自らの切り口を再考する
3. 個人ワーク: 自らの切り口を認識して物事を考える
4. ミニッツペーパー(全員提出!)

▶ 前回ミニッツペーパーの振り返り

自らの切り口ではないか(あたり) >>> この切り口を細分化してみると…

日本文化の中でもその地域によって少しずつ異なっている文化を現地
の調査から明らかにしていく

コミュニケーション、衣食住、農業、人生儀礼、
社会組織、年中行事、信仰、祭礼

東北の人たちの昔と今の暮らし方の
の比較をするためにフィールドワー
クで聞き書き調査を行う

地域の特性であつたり、衣食住、気候、歴史に
分かれている。

人とのコミュニケーションや異文化
間でのコミュニケーション

新しい知識(文法、単語)の習得、意思疎通、意見
交換、ディスカッション、アウトプット、自文化理解、
他文化理解、あいづち、ジェスチャー

情報処理 必要な情報を読み取り
活用する

ICカード、ビックデータ、ディープラーニング、
アプリケーション、ソフトウェア、ハードウェア

▶ 本日のワーク

深掘りして
みましょう

テーマ1 各自の時間外学習を共有し、自分の切り口を再考する

1. 他者の切り口を確認して、以下の2つの意見を抜き出す
2. 相手の切り口に対して「質問」をふたつ、ふせんに書く(1枚は必ず)

例 ○○って具体的に何を指すのか、○○についてもっと詳しく知りたい

3. 自分の時間外学習シートを見返して「自らの切り口」を修正する

相手の切り口の「切り取り方」や表現方法を参考に
できるだけ誰にでも伝わる表現で「自らの切り口」を記述する

テーマ2 自らの切り口を認識して「ケース企業の現状」を考える

1. 自らの切り口から「地域企業の現状」を読みときます
2. 本日本配りしたケース教材を読んでください
3. ケース教材の地域企業の現状をワークシートに沿って記入してください

テーマ3 自らの切り口を分解・再構築する

1. 前回の時間外学習シートを用意します
2. 先ほどのテーマ2のワークを振り返り、鳥の目や虫の目を活かして「自らの切り口」を再考しましょう
3. 新しく読み取れたことや新しく気が付いた「自らの切り口」を本日のシートに記入してください

※この時間内に教員は皆さんと「自らの切り口」について意見交換をします

第5回 ミニッツペーパー 本日の講義で学んだことを踏まえ次の質問に答えてください。

1. 本日のワークで考えた「自らの切り口」を「簡潔に」記述してください。
2. 本日のワークを振り返り、ケース企業の現状について「自らの切り口」から読みといたことや考えたことを記述してください。(150字程度)

※皆さんの回答についてのフィードバックを[来週10月18日水曜午前中]までにmanabaからお伝えします。

<http://miyagi-coc.jp/s1/>

